

山へ向かう人が知っておきたい

TOPICS



県内の活火山

吾妻山、安達太良山、磐梯山、燧ヶ岳、沼沢と5つあります。「有毒ガス」が含まれる噴気地帯には近づかないよう心がけ、風による噴気の流れにも気を付けましょう。



備えも装備のひとつ

- 十分に難易度を落とした山を選び、山小屋の営業や登山道の状況等を事前に確認しましょう。
- フィジカルディスタンスを確保し、混雑を回避しましょう。
- 感染予防グッズを携行し、ゴミは必ず持ち帰りましょう。
- 遭難の危険を感じたらすぐに通報しましょう。



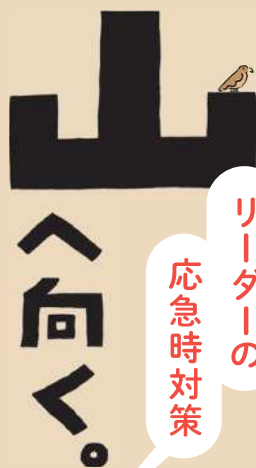
- 常に、自然条件とパーティーの力を考え、的確な状況判断と、早めの決断・行動が大切です。

- 事故に遭ったら、冷静に全員を安全地帯へ移動させ、今後の行動を検討してください。

- 自力での下山が不可能と判断したら、できるだけ早く救助を依頼してください。

- 救助を依頼する場合には、遭難の状況(日時、場所、ケガの程度)、遭難者の住所・氏名・連絡先を確実に伝達してください。

- ビバーク(不時露營)は、日没前に、そして体力のあるうちに準備し、風当たりの強い場



リーダーの
応急時対策



所などは避け、雪洞やツェルトを利用して救助を待ってください。また可能であれば濡れた服は着替え、カロリーの高いものを食べ、睡眠をとるなどして体力を温存してください。

- 危急時に備え、携帯電話、無線機、ツェルト、レスキューシート、ライター、携帯燃料や非常食(チョコレート、乾燥果物など)を携行してください。

- ヘリによる救助が増えていますが、ヘリの運行は天候に左右されやすく、飛行できない場合も多いのが現状です。事故に遭わないよう心がけて、登山を楽しみましょう。

